

第90期 事業報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

BSN



日本の滝百選「妙高市の苗名滝」(BSNドローン映像)

株式会社新潟放送

証券コード：9408

株主の皆様へ



代表取締役社長
佐藤 隆夫

株主の皆様には平素より当社事業につき格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るう中、皆様におかれましては災禍を乗り越えるべく懸命な日々をお過ごしのことと拝察いたしております。

ここに当社第90期事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

期末配当につきましては、1株につき3円75銭の普通配当とさせていただきます。これによりまして、当期の配当金は中間配当と合わせて1株につき7円50銭となります。当社は配当方針として安定配当を旨としております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

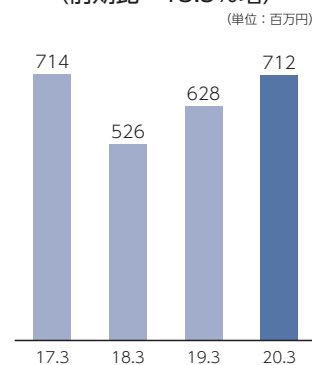
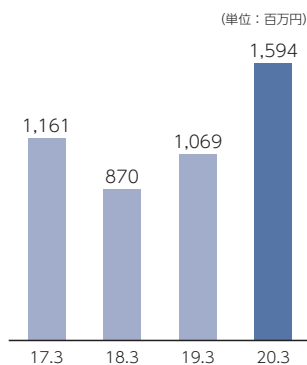
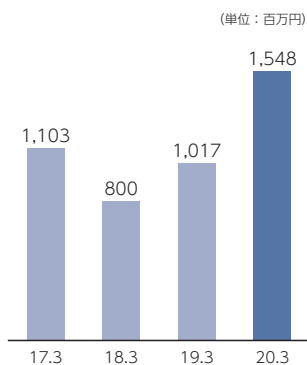
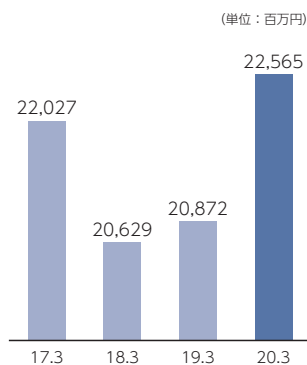
連結財務ハイライト (新潟放送、BSNウェブ、BSNアイネット、ビーアイテック、ITスクエア)

売上高 22,565百万円
(前期比 8.1%増)

営業利益 1,548百万円
(前期比 52.2%増)

経常利益 1,594百万円
(前期比 49.1%増)

親会社株主に帰属する
当期純利益 712百万円
(前期比 13.5%増)



業績のポイント

売上高は各事業部門の積極的な営業活動などで225億6千5百万円(前期比108.1%)となりました。また徹底したコスト削減を図り収益の確保に努めました。利益面におきましては営業利益は15億4千8百万円(前期比152.2%)、経常利益は15億9千4百万円(前期比149.1%)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億1千2百万円(前期比113.5%)となりました。

新潟放送・事業概況

ラジオ部門

当期ラジオ収入は、前期比6.1%減の7億2百万円となりました。スポット出稿の大幅減、キー局の配分をはじめとした県外のタイム出稿減、さらに、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、大幅な減収となりました。

番組では、4月にスタートした「三石佳那の夜はフツーでいいじゃない。」(月曜 午後7時～8時)がTBSラジオ・爆笑問題の日曜サンデー「全国新番組選手権」で、グランプリを受賞。ラジコ・エリアフリー聴取による県外リスナーが数十倍に増え、北陸信越で最も県外リスナーに聴かれている番組となっています。また10月には課題だった夕方帯に工藤淳之介アナウンサーを起用し、「工藤淳之介 3時のカルテット」(月一木 午後3時～5時)を立ち上げました。パートナーは曜日ごとに個性的な4人が登場します。

新型コロナウイルス感染拡大で全国一斉休校期間には、子どもたちからのメッセージ・電話を積極的に取り入れました。卒業式もままならない小学校担任と電話を繋ぐ「BSNラジオ 卒業 贈る言葉」を展開し、学校関係者や保護者から大きな反響を頂きました。



テレビ部門

当期におけるテレビ収入は、前期比1.0%減の49億5千1百万円で減収となりました。これは、収益の柱となるスポット収入が伸び悩んだことが大きな要因です。

番組制作では、BSNスペシャルとして「芸術の価値 舞踊家 金森穂16年の闘い」を放送しました。日本で唯一の公共劇場専属舞踊団「Noism (ノイズム)」の継続問題を切り口に、財政が厳しい地方都市が、芸術文化をどう支えるべきかを社会に問いかけました。

このほか、2018年度に放送したBSNスペシャル「コイビト～山里に育む美しき生命～」がJNNネットワークの番組コンクールでエンタテインメント部門の協議会賞を受賞、民間放送教育協会のレギュラー番組「日本のチカラ」で放送した「しろね子フルーツ」が2019年度「日本のチカラ」番組選奨でJAグループ賞を受賞するなど、社名高揚に大きく貢献しました。

報道部門では、平日夕方のローカルニュース「BSN NEWS ゆうなび」(月一金 午後6時15分～)が4年目を迎え、一層の内容充実をはかりました。災害が相次ぐ中、県民の安全・安心につながる情報提供に力を入れたほか、インターネットも活用した事件・事故などの迅速な報道、生活に密着した特集の放送に努め、さらなる視聴の定着を目指しました。



Noism



コイビト～山里に育む美しき生命～



「横浜DeNA VS 読売ジャイアンツ」新潟決戦 (2019年5月)

その他の部門

当期におけるその他の部門の収入は、前期比26.5%減の7億5百万円となりました。

他局へのCM配信事業などは減収となりましたが、事業イベント関係の収入は、大きく伸びました。プロ野球の開催に加え、美術館や新潟県立自然科学館での長期にわたって開催する催事に積極的に取り組んだほか、新潟市マンガ・アニメ情報館でのグッズ販売イベントを展開したことが要因です。

また、デジタル分野として「新潟の今とつながる」をコンセプトにスタートさせたスマートフォン向けアプリ「BSNアプリ」を充実させ、番組の聴取者、視聴者とのつながりを強化しました。県内ニュース、天気コンテンツなどのほか、テレビ番組の人気コーナーをアプリ限定とし、見逃し配信も始めました。



イベント・グッズ販売は大人気

財務概要

■ 連結貸借対照表 ■ (単位：千円)

科 目	当期末	前期末
	2020年3月31日	2019年3月31日
(資産の部)		
流動資産	11,944,617	11,879,377
固定資産	12,150,170	12,513,549
有形固定資産	6,553,194	7,075,422
無形固定資産	363,344	99,806
投資その他の資産	5,233,632	5,338,320
資産合計	24,094,788	24,392,927
(負債の部)		
流動負債	4,603,435	5,015,995
固定負債	1,318,672	1,478,457
負債合計	5,922,108	6,494,452
(純資産の部)		
株主資本	16,098,515	15,430,603
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	15,793,569	15,125,587
自己株式	△805	△734
その他の包括利益累計額	20,864	577,356
非支配株主持分	2,053,299	1,890,514
純資産合計	18,172,680	17,898,474
負債・純資産合計	24,094,788	24,392,927

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 ■ (単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,316	1,849
投資活動によるキャッシュ・フロー	△813	△578
財務活動によるキャッシュ・フロー	△838	△949
現金及び現金同等物の増加額	664	320
現金及び現金同等物の期首残高	5,952	5,632
現金及び現金同等物の期末残高	6,617	5,952

■ 連結損益計算書 ■ (単位：千円)

科 目	当期	前期
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高	22,565,503	20,872,795
売上原価	16,412,610	15,318,709
売上総利益	6,152,892	5,554,086
販売費及び一般管理費	4,604,717	4,537,003
営業利益	1,548,175	1,017,082
営業外収益	91,980	85,412
営業外費用	45,570	32,977
経常利益	1,594,585	1,069,516
特別利益	75,827	462
特別損失	335,273	1,050
税金等調整前当期純利益	1,335,139	1,068,929
法人税、住民税及び事業税	375,196	264,674
法人税等調整額	73,896	43,566
当期純利益	886,046	760,688
非支配株主に帰属する当期純利益	173,071	132,300
親会社株主に帰属する当期純利益	712,974	628,387

■ 新潟放送ハイライト ■

(単位：百万円)

科 目	当期末	前期末
	2020年3月31日	2019年3月31日
総資産	12,794	13,018
純資産	11,660	11,748

科 目	当期	前期
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高	6,359	6,709
営業利益	493	425
経常利益	570	512
当期純利益	406	399

トピックス

【そらなび～にいがたドローン紀行～ DVD BOOK 発売！】

新潟の魅力を改めて感じ、新潟をもっと好きになって欲しいという思いから2018年10月にスタートしたテレビ番組『そらなび』。新潟の景勝地をドローンで撮影し紹介する番組です。今回はこれまで放送した中から、34か所をピックアップして再編集し、DVDにまとめました。それだけではなく、取り上げたエリアの立ち寄りスポットやお土産を紹介するBOOKも作りしました。映像が付録にならないように、そして冊子がDVDを引き立てるような展開を心掛けました。またアナウンサーによる街歩き企画を実施し、誌面展開に加え、映像ではVRで一緒に旅をしているような疑似体験もできます。放送局ならではの遊びの要素も取り入れて、今年4月に発売されました。BSNホームページからも購入できますので、ぜひこの1冊1枚で新潟のすばらしさを感じていただきたいです。



加茂川（加茂市）を泳ぐ鯉のぼり（ドローン映像）

会社概要 (2020年3月31日現在)

社名	株式会社新潟放送 Broadcasting System of Niigata Inc. (BSN)
創立	1952年10月
資本金	3億円
事業内容	放送法による基幹放送事業及び一般放送事業 (ラジオ・テレビの放送) 放送番組の企画、製作、及び販売 美術、音楽、スポーツ、映画、演劇、芸能、 科学等各種催物の企画、製作、販売及び興行 出版物の企画、発行及び販売 他
本社	新潟市中央区川岸町3丁目18番地
従業員数	125名

株式の概況 (2020年3月31日現在)

- ◆ 発行可能株式総数 10,000,000 株
- ◆ 発行済株式総数 6,000,000 株
(自己株式1,102株を含む)
- ◆ 株主数 1,049 名
- ◆ 大株主

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社新潟日報社	765,800 株	12.7 %
越後交通株式会社	579,050	9.6
株式会社東京放送ホールディングス	485,000	8.0
株式会社ブロードピーク	471,100	7.8
株式会社第四銀行	299,600	4.9
第四リース株式会社	256,500	4.2
佐藤食品工業株式会社	136,000	2.2
ROYAL BANK OF CANADA	120,000	2.0
みずほ信託銀行株式会社	107,000	1.7
株式会社大光銀行	90,000	1.5
日本生命保険相互会社	90,000	1.5

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

役員 (2020年6月25日現在)

代表取締役社長	夫久敏史
取締役専務	隆好正
取締役常務	竹腰尊雅
取締役	藤田大五郎
取締役	十風津田
取締役	梅津木
取締役	小並島
取締役	小高瀬
取締役	和竹
取締役	石中
取締役	富喜弘
取締役	土雄
取締役	志映
取締役	平次
取締役	松真
取締役	紀子
顧問	

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
剰余金の配当 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
取締役会の決議によって、中間配当を実施する場合は、毎年9月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
単元株数 100株
公告掲載新聞 新潟日報
◆お取扱店 みずほ証券 本店、全国各支店
みずほ信託銀行 本店、全国各支店
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324

◆重要な子会社の状況

会社名	資本金 百万円	出資比率 %	主要な事業内容
(株)BSNウェブ	85	100.0	建物管理及び不動産業等
(株)BSNアイネット	200	65.5	情報処理サービス及び電算機器の販売
(株)ビーアイテック	50	65.5	パソコン機器及び関連商品の販売及びシステム建設並びに保守
(株)ITスクエア	80	56.3	情報化戦略立案支援、情報システム導入調達支援

新潟の今とつながる

BSNアプリ

2年目のリニューアル!



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう





BSNアナウンサー
林 莉世

